

# 経済・金融 フラッシュ

## ユーロ圏失業率(2023年3月) —労働市場は堅調な状況が継続

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

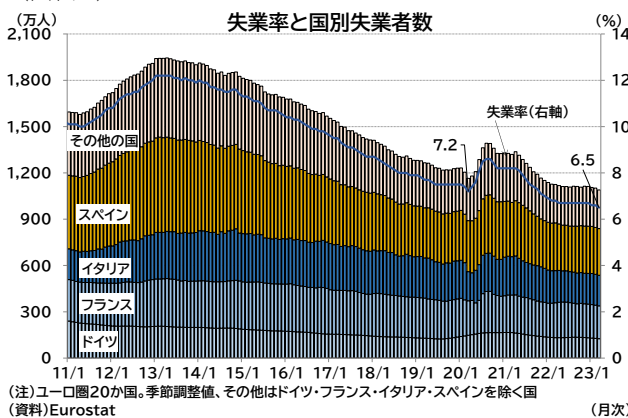
### 1. 結果の概要:失業率は6.5%にやや低下

5月3日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

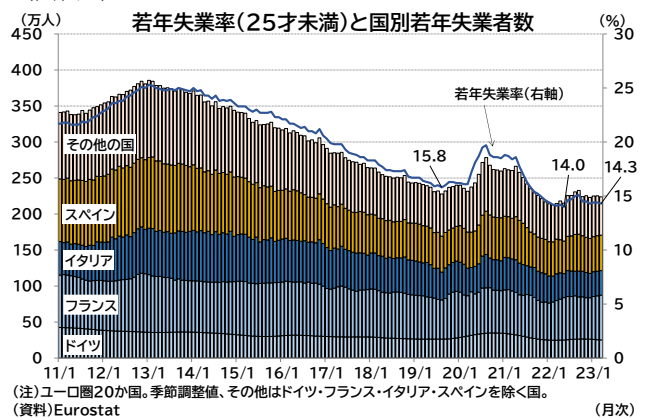
#### 【ユーロ圏失業率（20か国、2023年3月、季節調整値）】

- ・失業率は6.5%、市場予想<sup>1</sup>（6.6%）より下振れ、前月（6.6%）から低下した（図表1）
- ・失業者は1089.8万人となり、前月（1101.7万人）から11.9万人減少した

（図表1）



（図表2）



### 2. 結果の詳細:労働市場は堅調な状況が継続

ユーロ圏（20か国）の3月の失業率は6.5%で、2月（6.6%）からわずかに低下し、統計データ公表以来の最低値を更新した。また、過去データの改定による変更はほとんどなかった。

失業者数は3月の前月差で11.9万人減となり、22年12月以降4か月連続で減少した（図表3・4）。主要4か国のすべてで失業者数が減少、減少幅が大きい順にイタリア（▲2.1万人）、ドイツ（▲1.8万人）、フランス（▲1.8万人）、スペイン（▲1.6万人）だった。

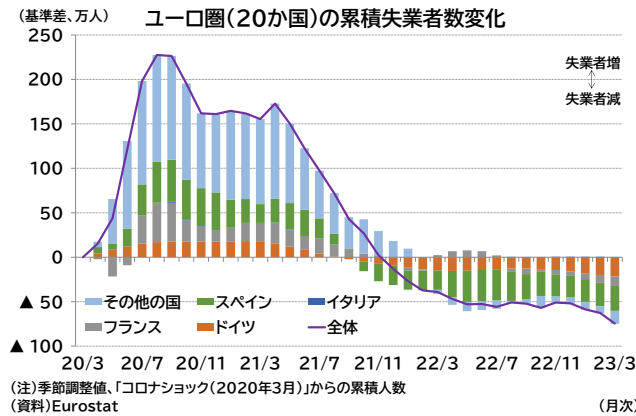
3月の若年失業率は14.3%で、2月（14.4%）からわずかに減少した（図表2）。若年失業率は22年5月（14.0%）をボトムに一時やや悪化した。足もとでは再び14%台前半で推移している。また、また若年失業率も過去データの改定による変更はほとんどなかった。

若年失業者数は3月で223.9万人（前月差▲1.4万人）と減少した。若年失業者数はコロナ禍後

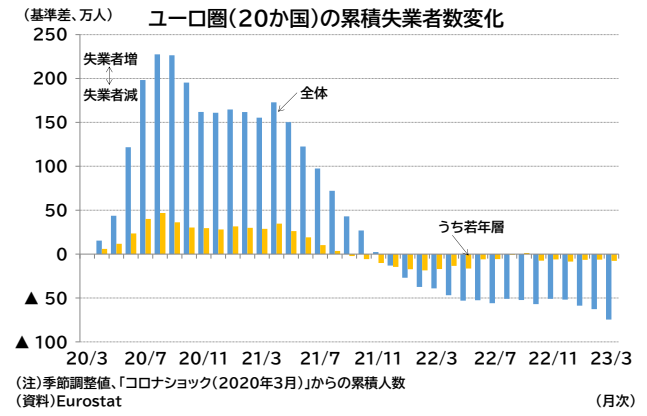
<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

の最低値（213.0万人、22年2月）を上回る状況ではあるが、コロナショック直前の水準は下回っている（図表4）。

（図表3）

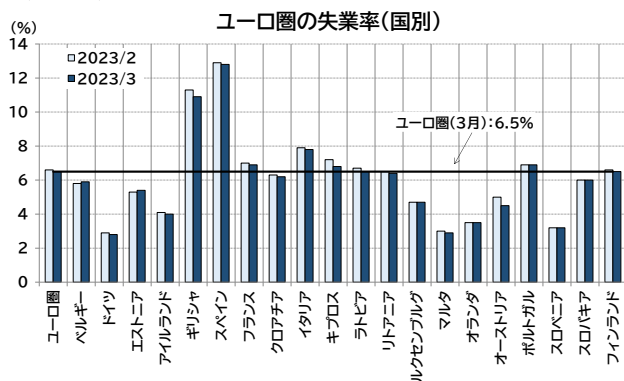


（図表4）

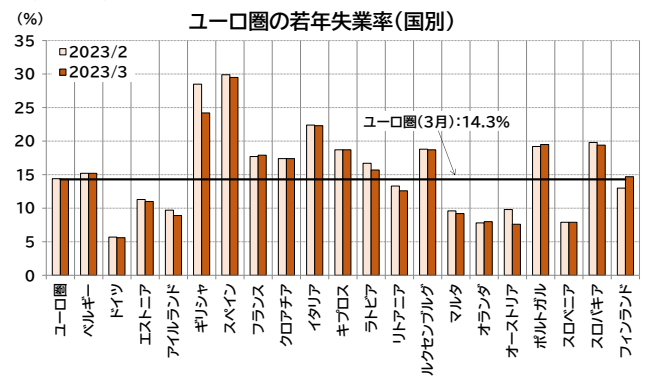


国別の3月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている20か国中、悪化した国が2か国、改善が13か国、横ばいが5か国だった（図表5）。また、若年失業率は20か国中、悪化した国が4か国、改善が12か国、横ばいが4か国だった（図表6）。多くの国で失業率には改善傾向が見られている。

（図表5）

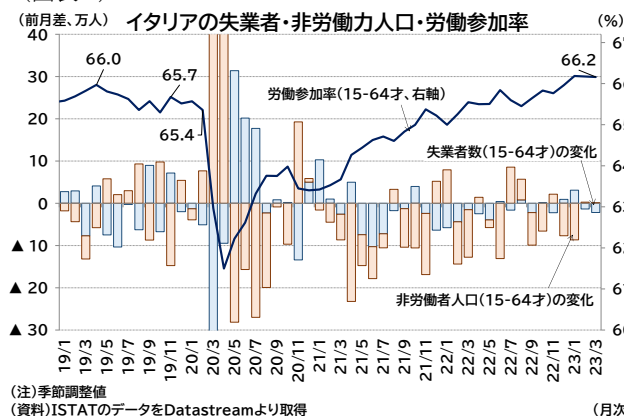


（図表6）

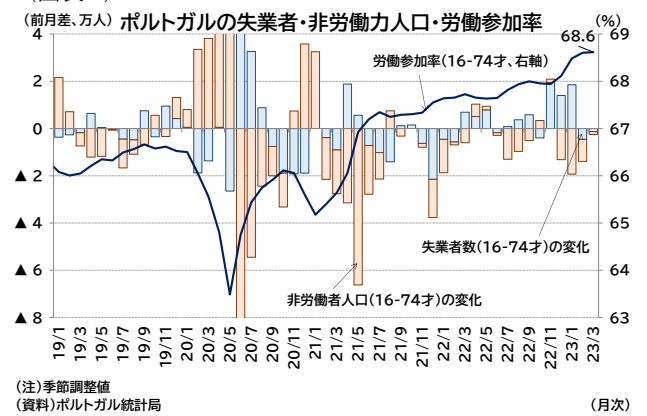


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、非労働力人口がほぼ横ばいで就業者が微増した。ポルトガルは失業者と非労働力人口が減少、就業者が増加した（図表7・8）。いずれの国でも、労働参加率はコロナ禍前を上回る高水準で維持されており、引き続き労働市場が底堅いことがうかがえる。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保证するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。